

請 願 番 号	請願第1号
件 名	小中学校の給食費無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和5年3月3日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、松原徳和、服部勝弘、 田中成佳、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>学校給食は、健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎、基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会である。また、子どもたちの給食への期待感や、みんなと一緒に食べる楽しさは、かけがえのないものであり、成長期にある子どもたちの健全な成長に大きな影響がある。</p> <p>学校給食は、「憲法第26条に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するもの」として貧富の差に関係なく、教科書は全員に無償で配付されており、学校給食においても実現されるべきと考える。</p> <p>加えて、昨今はコロナ禍の中、生活苦を抱えている人も多く、度重なる物価高騰により保護者から給食費の無償化を求める声が広がり、自治体もその思いに答えようとしてきている。</p> <p>給食費については、就学援助制度ほかにより実質無償であると繰り返し答弁があったが、今年度、就学援助の申請をした315人（6月現在）の子どもについて却下されており、年々増えている。これでは実質無償とは言えない。</p> <p>岐阜県内では、既に岐南町、揖斐川町、垂井町で無償化され、山県市では今年度の2学期から、羽島市では8月から12月まで、本巣市では9月から3月まで無償化が実施されており、全国でも緊急に子育て世代の経済的な負担軽減をするために、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを使い、給食費の無償化をする自治体が相次いでいる。</p> <p>以上のことから、岐阜市においても、給食費の無償化が実現されるよう請願する。</p>	
審 議 結 果	令和5年3月27日（月） 不採択